



高校1年生、1学期の被服実習は調理実習などで活用できる「手縫いのマスク」を作りました。ガーゼ素材の無地の布にそれぞれが自由にデザインした絵柄をフェルトや刺繍糸などを使ってかたちにしていきました。どのマスクもオリジナリティ溢れる力作ばかりです。



オリジナルマスク作り【手縫いでつくる】

今回の被服実習では、それぞれの生徒が創意工夫を凝らしたデザインのマスクを作成しました。最初にデザイン画を描き、それをもとにフェルトや刺繍糸をつかって立体的に仕上げていく作業は決して簡単ではありませんでしたが、自分で考えたり、友人に相談するなどして9クラスすべての生徒がオリジナルのマスクを完成させることができました。作品の一部は学園祭または、被服室横のショーケースに展示しています。どれも素晴らしい作品ばかりなので、ぜひ見に来てください。

無地の素材にフェルトや刺繍糸をつかって好きなデザインで仕上げます。



細かく切ったバラの花びらを一つ一つ縫いつなげています。

カラフルなフェルトをアルファベットのカタチにカットし、バランスを確認。



この黄色のキャラクターは一クラスに1人は作る一番人気でした！

手先の器用な男子生徒はたくさんいます！かわいい猫ですね。



フェルトを重ね、立体的でとてもかわいく仕上がっていますね！



時間配分を意識、作業効率UP！

限られた時間の中でマスクを完成させるためには、作業の順番やそれぞれの作業にかけられる時間配分など、あらかじめきちんと計画を立てて製作をしていくことが重要です。今回はほとんどの生徒が計画的に作業を進められたおかげで無事にマスクを完成させることができました。



作ったマスクは調理実習で使ってね！



編集後記

皆それぞれが個性的なデザインのマスクを完成させることができました。2学期の調理実習も積極的に参加しておいしいものを作ってください！

